



れんげ畑

～結の学校～

10月号

本校がめざす「学びと社会・未来を結ぶ」中央っ子!

先日の台風 14 号の対応では、皆様のご協力のおかげで、無事乗り切ることができました。ありがとうございました。



今月号は、本校が取り組んでいる「STEAM 教育」について、学校課題研究主任からご紹介します。STEAM 教育とは、教科の枠にとられない、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学・ものづくり)、Art (芸術・ビジュアルアーツ)、Mathematics (数学) を関連させて進める教育です。

※右ページ図参照

【本校の研究主題について】

ICT の発展による、仕事や社会の変化、新型コロナウイルスに代表される、新しい感染症への恐怖等、子どもたちを取り巻く現代や未来は、先行き不透明なものとなっています。

そのような現代や未来を生きる子どもたちには、

- ① 自ら課題を見つけ、解決する能力
- ② 仲間と協働して課題を解決し、よりよい社会や未来を築いていく力

が必要であると考えました。

そこで本校では、研究主題を、「**よりよい社会と未来を創造する中央っ子の育成～児童の『やりたい! 知りたい! 学びたい!』を引き出す中央小型 PBL の開発～**」とし、生活科・総合的な学習の時間「れんげ畑タイム」を中心として、研究を進めることとしました。



【PBL とは】

PBL (Project Based Learning) とは、「問題解決型学習」「課題解決型学習」の学習法

【研究の視点】

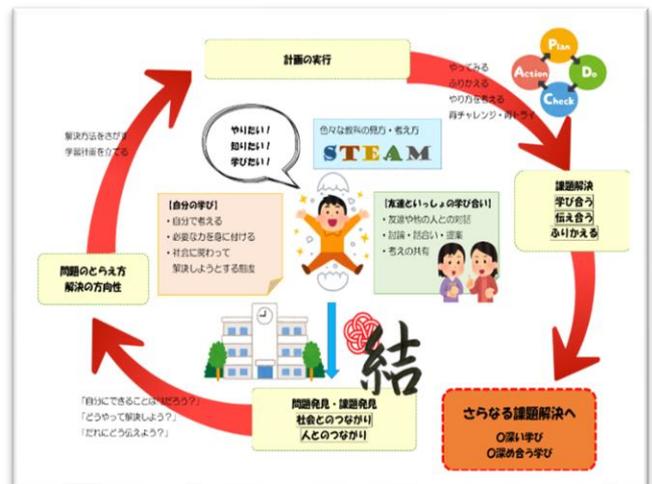
- ◆ れんげ畑タイムを中心として、教科等にとられないことなく、自分が見つけた課題を仲間と協働して解決を図る時間を確保します。
- ◆ 中央っ子が、やってみたい、知りたい、学びたいと感じ、主体的な学びができるよう、授業を改善します。
- ◆ 実際に課題解決ができるかどうか検証を行い、さらなる解決へと学びを進められるようにします。
- ◆ 学びが充実するよう、パソコンルームを大きく改善し、高性能パソコンや、3D プリンター、様々なソフトウェア、そしてスマートインフィルと呼ばれる大型モニターを導入します。
- ◆ 中央っ子の取組を、地域や公的機関等に発信し、校内での学びを社会につなげていきます。



※次ページ図参照

今後さらに PC やデジタル機器が生活の中心を占めていくものと考えます。そのような社会の中で、中央っ子が適切に利活用できる資質についても、上記に加え、身に着けられるよう指導していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

【学校課題研究主任 岩城 英美佳】



【STEAM（スチーム）教育とは】

【学び改善のイメージ図】

※図につきましては、縮小している関係上印刷では読みにくい箇所がございます。よろしければ学校ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

「発表」「創作活動」どちらでも活用できる

鴻巣中央小学校 STEAM LAB



先月号でお知らせしましたSTEAMLABの工事が進んでおります。鴻巣市教育情報化計画でお世話になっております内田洋行様の全面的なサポートのもと、校長の目指す「結の学校」をイメージしたデザインの素敵な教室が出来上がりました。

結の学校を意識した
 やわらかい雰囲気
 のアーチ型のデザインです。
三重のアーチ
 でつながりを表現しました。

色の違うカーペットには、可動式の児童用机が入る予定です。色分けされていることによりグループの配置が分かりやすくなっています。一番濃いカーペットの部分には、Intel様より提供いただいた常設PCが20台入ります。他とは違う**木目状の床面**は、発表用ステージとなります。ステージ後方には、スマートインフィルという大型画面が設置されます。

10月中旬完成予定となります。